

山行番 NO. 1530
日 時 2013. 01. 13 (日) 快晴 (尾根無風・稜線強風)
山 域 八ヶ岳・横岳 よこだけ (2829m)
標高差 上り 海ノ口登山口1760m~横岳2829m=約1069m
参加者 後藤、村山、小松、石和、勝又陽=5名



1. 海ノ口登山口発 7:05

長泉を4時発、海ノ口自然郷の別荘地に駐車。積雪のためなのか、別荘地内の登山道への看板がまるでみつからなかった。南八ヶ岳林道を横切って樹林帯を登って行く。じきに暑くなる。沢にかかった木の橋を渡り、すっぱり静かな仙添(そまぞえ)尾根をひたすら進む。トレースがあるというので、わかんは車中に置いてきたが、トレースを外すとズボッと踏み抜いて片足が落ちた。8時15分、この地にテン泊したS氏と交信。樹林帯を抜けると、パーと視界が開ける。前方に横たわる目指す横岳、左前方には八ヶ岳最高峰の赤岳の雄姿。気持ちよくサクサクと進む。10時横岳から下ってきたS氏と新年の挨拶を交わす。ハイマツが見え隠れするあたりから急登になり、ピッケルをしっかりと刺して慎重に登る。





2. 三叉峰 さんしゃほう (2825m) 10:35

赤岳(左側)と横岳(右側)の縦走路に仙添尾根が交叉するのでつけられた名前だそうで、雪はとばされ岩の塊。稜線は風が強く、雪片が飛び交っている。岩がゴロゴロしている稜線を硫黄岳方面に進むと、2つ目のピークに鉄の梯子が2か所掛けられている。アイゼンの爪を確認しながら上る。



3. 横岳 10:55

登頂成功、バンザ〜イ！ 6月にアイゼンを持っていなくて撤退していたので、今度こそ登頂したかった。北アルプスも南アルプスも富士山も見える。快晴の青空と真っ白な雪山。隣の硫黄岳は低く見え、赤岳は雪が照かってそびえている。厳冬期の雪山、素晴らしい山頂からの展望だ。写真だけ撮ってもらい、すぐ下る。





4. 下山 11:00～登山口着13:00

同じ道を下るが、ハイマツ帯をトラバースする辺りは、危なっかしいのでロープで確保してもらう。富士山での雪山訓練の反省で、各自持つようにと指示されたロープの初使用だ。歩調を合わせ、一定の距離をあけて慎重に下る。もう大丈夫という所ではずしてからのしばらくの下りはサクサク快調に足が進んで、雪山ならではの楽しさをあじわえた。下りは奥秩父の山々が見える。行動食を取り、この景色に別れをつける。

樹林帯に入ってからの下りは長かった。先頭ははるか先を行き、下っても下ってもまるで見えない。足が悲鳴をあげだした。ストックにスノーバスケットを付けてこなかったことを後悔して、休憩を勝手にとって、Kさんにストックを借りる。Kさんは雪の富士山で3回訓練を済ませ、今回が本格的雪山デビュー。

い～山行だった。上り約4時間弱、下り約2時間。大変で危険も伴うが、雪山ならではの楽しさをあじわえて幸せな日になった。みなさんのおかげです。

下山後はたかねの湯に寄りS氏と合流、食堂を探してしばし歓談。

翌日は急激に発達した低気圧の影響で、全国的に大雪となり交通が混乱した。



その他の記述（L後藤）

1. 海ノ口別荘地内は、登山口までの道標がなく非常に分かり難い。夜は最悪でしょう。
2. この時期、別荘内の道路はカチカチのアイスバーンで要注意。
3. 杣添尾根は特に急な部分はなく、初心者でも問題はない。
4. 杣添尾根は東面なので西風の影響が少ない。尾根は無風状態だったが、稜線は凄い風だった。
5. 本格的冬山初参加のKさんは、訓練も積極的に参加し、見事に登頂を果たした。オメデトウ。
6. 尾根に残っている昔の道標によると、無人の杣栖小屋があったようだ。頭に「西武」が冠されていたが、別荘地が西武系だろうか。
7. 帰路、「たかねの湯」（700-）に寄ったが、14:00～17:00まで食堂が休みで何も食べられなかった。前回はそうだった。仕方がないので、須玉IC上の「坂の上」ドライブインでソバと熱燗を頂いた。この店の女将は如才なくイイ感じだった。ソバも美味しく、熱燗はサイコーでした。（笑）
8. この時期、悪天候・日照を考えると下土狩発5:00では遅い。4:00で正解だった。

関連HP

裾野麗峰山の会	http://outdoor.geocities.jp/takanori_reihou2222/
長泉さわやかハイキング	http://outdoor.geocities.jp/takanori_reihou2222/
長泉ウォーキングクラブ	http://outdoor.geocities.jp/takanori_reihou2222/kiroku-7.html
長泉八十八巡礼会	http://nagaizumi88jyunrei.web.fc2.com/index.html
長泉富士山の会	http://outdoor.geocities.jp/takanori_reihou2222/kiroku-6.html